

JCI HIKONE

一心一意！ 夢、希望溢れるひこねへ！



一心不乱！ 2021地区大会inひこね！
大会への想い～第68代理事長 北村忠征～

6月度(臨時総会)例会

～組織の人材マネジメント力を高めよう！～開催
総務広報委員会 委員長 夏原大輝、インタビュー

<彦根市×JCI>

オンラインミーティング開催
国宝・彦根城の世界遺産登録にむけて

ひこねの魅力体験記！
地域でグランピング体験
～GLAMP ELEMENT～

写真：副理事長
※左から
横津優騎
木田乃輔
橋本一幾
中西雄也



一心不乱！ 2021地区大会 in ひこね！

近畿地区大会彦根大会の開催(7月3日)まで残り 2カ月！今回は彦根青年会議所第68代理事長 北村忠征、君に大会への展望についてインタビューを行いました！



彦根青年会議所
第68代理事長 北村忠征 君

質問：彦根大会開催まで残り僅かとなりますが、大会を目前に北村理事長にとっての彦根大会とは何かをお聞かせください。

北村：近畿地区大会は地域の魅力を対外へ発信する絶好の機会です。地域活性化を推し進める我々にとって、全身全霊をもってこれに取り組み、成功させなければいけません。ただ彦根大会が成功裏に収められればそれでよしと満足するのではなく、再来年に控える彦根青年会議所70周年に向け、本大会が糧となるようなものにしなければいけないと私は考えています。

質問：2年後に控える70周年も視野に入れているということですか？

北村：もちろんです。青年会議所活動は単年度制の組織ではありますが、先輩諸兄姉より脈々と受け継がれる想いや結束力は永続的なものです。地区大会やブロック大会、全国城下町シンポジウムなど、大き

な大会を経験したメンバーには結束力という大きな財産が生まれます。その養ったものを周年で披露するためにも、目前の近畿地区大会彦根大会は重要な事業だと言えるでしょう。

質問：事業で経験したこと、学んだことを自分と組織の糧とし、次に生かしていくことは彦根青年会議所活動の基本ということですね。最後に本記事を読んでもらえる方々にメッセージをお願い致します。

北村：ご存知のとおり、本年度は新型コロナウイルス感染症の影響により近畿地区大会においても例年通りの開催とはいきません。しかし例年通りの大会ができないのであれば、新しい形で地域の魅力を発信するのが我々彦根青年会議所の責務です。感染症対策を徹底したうえで、皆さまの心に残る大会となるよう開催当日までメンバー同全力で取り組みを続けてまいります。是非とも足を運んでいただき、ひこねの魅力を体感していただければと考えております。どうぞご期待のほど宜しくお願い申し上げます。



冷めることなき
北村理事長の熱意！

一心同体！ 夢、希望溢れる同志たち！

今回は2021年6月6日に行われる、6月度例会～組織の人材マネジメント力を高めよう！～を開催するにあたり、総務広報委員会の夏原大輝、委員長にインタビューを行いました。組織運営に大きな影響を及ぼす人材マネジメント！上司と部下の良好な関わりを学ぶ例会とは！？



<組織運営×人材>の重要性を
訴えかけたいと語る夏原委員長

質問：6月度例会の内容を教えてくださいませんか？

夏原：組織運営と人材マネジメントの関わり、そして組織内部における上司と部下、及びチーム内の良質なコミュニケーションについて学んでいただきたいと考えております。

質問：人と人の繋がりは彦根青年会議所活動でも重要な部分ですよね。現状でもJCI彦根メンバー間の人間関係は悪くないと思いますが？

夏原：現在のJCI彦根メンバー間のコミュニケーションが悪いわけではありません。JCIならではの熱い関係性が魅力であることも確かです。ただその関係性をより強固なものとする中で、組織運営における更なるメリットがあるということに気づきを得る例会としたいと考えております。

質問：例会内では総務広報委員会メンバー出演の再現動画を視聴する時間が用意されているとお聞きしています！具体的な内容を教えてください。

夏原：組織における人と人、ひいては上司と部下の関わり方について、悪質・良質、双方の再現動画を視聴いただき、それが組織運営にどういった結果をもたらすのか学んでいただけます。かなり思い切った内容の動画となっておりますので、楽しみながら学んでいただけるはずですよ。(笑)

質問：楽しい例会になりそうですね。最後に夏原委員長の本例会に込める想いを教えてください。

夏原：彦根青年会議所は、地域の20歳～40歳で構成された組織です。本年度は20代の若いメンバーも新たに加わっています。尊敬する先輩方より受け継がれるJCIだからこその魅力ある関係性と、現代から次代を意識した人材マネジメントを+αすることで、より効果的かつ持続的に活動ができる組織へと進化できると考えています。その一つの契機となるような例会にしてみせます！期待しててください！



左：担当副理事長である木田乃輔君
委員長との関係は至極良好です(笑)

一心発起！ TAKE ACTION！

連載記事「一心発起！TAKE ACTION!」では、地域の活性化に繋がるACTION!を起こしている組織内外の人物や組織に取材を行い、12ヵ月に渡り記事を掲載していきます!!

5回目となる今回は4月15日に行われた、彦根市×日本青年会議所 近畿地区協議会 質的価値創造会議の共催によるオンラインミーティング<みんなでつくる世界遺産のあるまち彦根>の内容をお届けします。彦根市×市民×JCIがオンライン上で彦根城世界遺産登録について真剣に考え、意見を出し合いました。本記事では彦根城世界遺産登録の「キーマン」の方々の話と、グループディスカッションの内容の一部抜粋してお送りいたします。

<近畿地区協議会 質的価値創造会議 高玉 要 委員長>



近畿地区協議会 質的価値創造会議
高玉 要 委員長 (JCI高槻)

議長挨拶：本日は近畿2府4県から青年会議所のメンバーが集まっておりま。自分たちが住み暮らす地域だけではなく、近畿地区全体に目を向けて地域のことを考えられるメンバーです。今回、貴重なお時間を頂戴し、オンライン上ではありますが、彦根市の皆さまとお会いすることができました。彦根市は2024年に国宝・彦根城の世界遺産登録を目指しておられるなかで、JCIとしても彦根市民の皆さまと共に活動をさせていただき、世界遺産登録を確実なものとするために応援させていただきたいと考え、今日の場を設けさせていただいた次第でございます。本日は宜しくお願い致します。

<彦根市シティプロモーション戦略推進委員会 北川 雄士 会長>

私は彦根市と共にシティプロモーション戦略推進委員会の運営をさせていただけており、今年で2年目となります。シティプロモーションというのは彦根市民の皆さまに対して彦根の魅力を発信していく活動です。国宝・彦根城の世界遺産登録に向けて、市民の皆さまがもっと彦根市を好きになり、自分達が彦根市を盛り上げていこうという流れが、結果として国宝・彦根城の世界遺産登録に繋がると考えております。今日を機会にシティプロモーションも知っていただき、またその先にある世界遺産登録が、結果として市民の皆さまにどう関係してくるのか、是非とも前向きな議論を皆さんで行いたいと考えております。



彦根市シティプロモーション
戦略推進委員会 北川 雄士 会長

<彦根城世界遺産登録 意見交換・応援1000人委員会 宮川 富子 会長>



彦根城世界遺産登録 意見交換・応援
1000人委員会 宮川 富子 会長

私は生まれも育ちもこの彦根で過ごし、これから先も愛する彦根のまちを大切にしていきたいと考えております。1000人委員会の会長という大役をお受けしたキッカケとしましては、私自身が国宝・彦根城の世界遺産登録に向けて大事なこと「市民の想い、というものを認識したのが始まりです。国宝・彦根城は天守閣のみならず、周辺のまちに関しても昔のままの姿を残しているという魅力があります。その魅力を市民が大事にしていかなければいけません。最終的な目的は国宝・彦根城の世界遺産登録ではなく、世界遺産に登録された後のまちづくり、そこに住み暮らす人々が誇りを持てるまちにしていくことだと考えております。本日は宜しくお願い致します。

●世界遺産登録に関する情報提供 滋賀県 文化財保護課 彦根城世界遺産登録推進室 鈴木 達也 氏



・平成4年に暫定リスト（世界遺産候補）に入りながら、約30年未だ登録に至っていない。
・世界的な価値の証明ができていなかったが、数年前より本腰を入れて行政で取り組みをしている。
・2024年の登録に向けて、まずは国内で2022年時点で推薦される必要がある。つまりは本年度中に推薦されるだけの資料を用意しなければいけない。

●グループディスカッション

グループディスカッションでは参加者がいくつかのグループに分かれ、各お題ごとにグループメンバーでディスカッションを行います。彦根市×市民×JCIで意見を出し合ったその内容を以下に一部紹介します。

Q. 世界遺産登録のメリットとは？

・観光客が増え経済が回る・まちづくりのテーマが決まり地域が同じ方向を向いて進める・地域の魅力が上がることで人が留まる、移住してくる・人が増えることで税収が上がる・インフラが整う・周辺の施設が整う・住み暮らす人々が地域に誇りを持って・市民の意識が向上し地域の発展に繋がる・地域が一丸となり観光業に対する繋がりが生まれる・彦根城以外の地域の魅力にも目を向けられるキッカケとなる・彦根城が歴史的建造物として保存される

Q. 世界遺産登録のデメリットとは？ または課題とは？

・観光客が増えることでゴミなど、まちが汚れる・景観の規制が厳しくなる・ルールが増える・インフラが崩壊する（道路状況、駐車場問題）・世界遺産登録後は彦根市頼みになるのではないかと・世界遺産登録されたら彦根城を昔の状態に復帰させる必要があるのではないかと・経済効果からの市民への還元はどうなるのか・治安は悪くなる・世界遺産登録反対派への対応が必要になる・観光に走りすぎて歴史的な魅力が低下する可能性がある・観光客が来ることがメリットでありデメリット・彦根城の入場待ちなど、観光客が増えることに対する受け皿の拡大が追いつかない・周辺地域の魅力が不足している（知られていない）・外国人観光客に対するフォロー不足

国宝・彦根城の世界遺産登録には行政だけでなく、地域、市民の協力も必要になります。今後も彦根青年会議所は国宝・彦根城の世界遺産登録に向け引き続き応援、活動を続けてまいります！

発見！ひこねの魅力体験記！

連載記事「発見！ひこねの魅力体験記！」では、2市4町にある魅力スポットを彦根青年会議所メンバーが訪れ、体験した内容を記事とすることで、地域の知られざる魅力を紹介していきます！

5回目となる今回は「GLAMP ELEMENT」！全国「20000軒」の旅館・ホテルのなかでグランプリを獲得した、地域の魅力「グランピング」施設です！



皆さんは「旅館甲子園」なるものをご存知ですか？
全国「20000軒」の旅館・ホテルが参加し、その頂点を目指す大会です。`おもてなしを、次代へ、を掲げる大会にて、群雄割拠なる日本の宿泊施設のなか、本年度のグランプリに輝いた施設が滋賀県の米原市にあります。ご存知ですか！？ そうです！
「GLAMP ELEMENT」さんです！！
滋賀県は米原市、伊吹山を目前に眺める自然豊かな中に、そのグランピング施設はあります♪

全室レイクビューを眺める客室は、テント、ドーム、ロッジ、など多くの種類を揃えています。そして全室エアコン完備！グランピングはキャンプとホテルの中間なんて言われますが、居心地は本当に快適そのもの♪

そしてなんとこの施設、全部屋に専用の`ボート、が設置されているんです！ライフジャケットは完備されていますが、湖は深さ50cm程度なので、もしボートから落ちてもしっかり安心の深さです。(笑)



施設内には他にもパターゴルフ、テニスなどのアクティビティが存在し、子供と大人が楽しめる設え。いい大人が浮かれるのも無理はありません♪
そうこうしているうちに
お楽しみの夕食タイム！



夕食は各お部屋のデッキでコンシェルジュがサービスするプライベートダイニングスタイル！季節の味を堪能できます。`staub` (ストウブ) を使ったお洒落なアウトドア料理の数々に、魅了されまくりです♪

お腹を満たせば次は夜のBarへ。なんとここには施設内にBarが併設されているんです！また本施設は`オールインクルーシブ、つまりは基本的に施設内で追加料金がかからず飲み食いができます♪ Barでのアルコール類を含む飲み物はもちろんのこと、ラウンジでのコーヒーやプレミアムソフトクリームも食べ放題。そしてカロムまで！地元愛を感じさせます！



ふかふかの布団でぐっすり寝た後は、これまたお洒落な朝食です！洋食か和食を選べるのも嬉しいポイント♪



こんなご時世ではありますが、グランピングという密になりにくい状況は、ひと時の安らぎを与えてくれます。大切な人と、時間の流れを感じさせない大事な時を過ごせた「GLAMP ELEMENT」は間違いなく地域の魅力スポットでした！ただし大人気なのでご予約はお早めに♪



事業・例会案内

- 2021年 5月 6日 : 5月度(臨時総会)例会 ~組織の表現力を高めよう！~
- 2021年 5月23日 : 会員交流タイム ~全身全力全集中でジェスチャータイム！~
- 2021年 6月 6日 : 6月度(臨時総会)例会 ~組織の人材マネジメント力を高めよう！~
- 2021年 7月 3日 : 近畿地区大会 彦根大会

